

大久保病院だより

TOPIC

3月22日(土)グリーンヒルホテル明石にて「第15回大久保地区病診連携の会」を開催しました。会場で開催するのは約5年ぶりとなり、講演会ではありませんでしたが、多くの地域の先生方をはじめ多岐にわたる医療職種の方々にもご参加いただきました。誠にありがとうございました。無事に開催できましたのは、ご共催くださいました明石市医師会様のご協力や地域の諸先生方、医療スタッフの皆さまのおかげと深く感謝しています。

さて今回、「医療分野における生成AIの実践的活用」と題し、東日本税理士法人代表社員・長英一郎先生に特別講演を行っていただきました。長英一郎先生は、医療経営に特化し「患者視点の医療経営」をモットーとされ、病院や介護施設の体験見学を重視されています。この度の講演では、生成AIが、医療文章の作成、診断支援、患者さんへの情報提供支援など幅広い分野で活用が期待されてい

医療現場を革新する生成AIによる
今後の可能性を体感！
地域そして患者さんのために

「第15回大久保地区病診連携の会」
地域医療連携室



東日本税理士法人代表社員
おさ 長 英一郎先生

ることを学び、生成AIの医療分野における実践的な活用事例も紹介いただき、今後の可能性を体感することができました。

また、AI活用事例として各協力会社より、AI問診票の事例紹介、AI搭載インフルエンザ検査医療機器、画像データを読影支援するAIプラットフォーム技術の紹介を行っていただきました。

最新技術を学び、医療現場の効率化と質向上に役立てていこうと考えられた方も多かったのではないのでしょうか。

本会が地域の先生方の今後の診療や医療スタッフの皆さまの学びにお役立ていただければ幸いに存じます。今後も、地域医療・病診病連携、そして患者さんのために貢献できるよう努力する所存です。今後ともよろしくお願い申し上げます。



生活習慣病には自己管理が大切



市民講座

糖尿病教室の開催



高橋 路子先生

大久保北コミュニティ・センターにて、3月1日(土)・8日(土)の2週にわたり、地域の29名の皆さまのご参加のもと糖尿病教室を開催いたしました。

神戸大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科/栄養管理部 部長 高橋路子先生を講師にお迎えし、生活習慣病のかかりかたや影響、糖尿病の合併症・併存症、特に腎症・歯周病・がんのリスクについてお話ししていただきました。

糖尿病改善のためには、①適切な体重と筋肉②食後高血糖を防ぐ③腸内環境を整えることが重要になるな

ど、詳しく解説していただきました。また、当院の薬剤師よりお薬の種類や特徴、シックデイ(発熱・下痢・食欲不振など)の対応について、管理栄養士より食事のバランスや食べ方の工夫について、理学療法士より有酸素運動やレジスタンス運動の種類や回数の指標についてもお話ししていただきました。

5月10日(土)・17日(土)には『腎臓』をテーマに市民講座の開催を予定しています。皆さま、ぜひご参加ください。



新入職者紹介

WELCOME!

4月1日、新卒11名と既卒6名、全17名のスタッフが新たに大久保病院に入職しました。皆様宜しく願い致します。

2023年5月に新型コロナウイルスが5類感染症となり、ウイルスの猛威と闘った日々は過去のものになりつつあります。新たなマンパワーがプラスされた「シン・大久保病院」で地域の皆様の平穏な日常に貢献してまいりたいと考えております。



特定医療法人誠仁会

大久保病院

〒674-0051 明石市大久保町大窪2095-1

tel.(078)935-2563



財団法人
日本医療機能評価機構
認定書受領

当院専用
バス有り
詳細は当院
ホームページ

交通機関をご利用の方

- JR山陽本線「大久保」駅下車、北へ徒歩20分
- 「大久保」駅北口より神姫バス
②のりば 19「山手台」行き
③のりば 12「西神中央」駅、「上岩岡」、
「五百蔵」行き「山手小学校前」バス停下車、
東へ徒歩5分

車をご利用の方

- 第二神明道路「大久保IC」より、
大久保方面へ約10分

大久保病院だよりは
ホームページでもご覧になれます

<https://www.seiinkai.or.jp/>





特集

女性特有疾患について

生理に関する悩みを解消しませんか？

副院長 産婦人科 吉岡 信也

表1

生理に関する主なトラブル

- 月経困難症 生理痛がきつい
- 月経前症候群(PMS) 生理前3～10日の精神的・肉体的症状
- 過多月経 生理の量が多い
- 原発性無月経 18歳までに初経がない
- 続発性無月経 生理が3ヶ月以上ない
- 早発閉経 通常より早く閉経となる

まったとたんに消失します。

生理の量が多い(過多月経)かは「多い日に昼用ナプキンを1時間程度で交換、昼でも夜用ナプキンを使用、レバーのような血の塊が混じっている」などが目安です。原因は子宮筋腫など様々ですが、過多月経による貧血は疲労、運動機能(ちょっとしたことで息切れや動悸を自覚)や認知機能の低下、メンタルヘルス不調(イライラ、落ち込み、めまい、だるさ)など心身の不調につながります。そのため月経量のコントロールが役に立ちます。

ちなみにこれらの月経に関する症状によって、日本全体の経済的損失は年間6,830億円にも上ると報告されています(図1)。

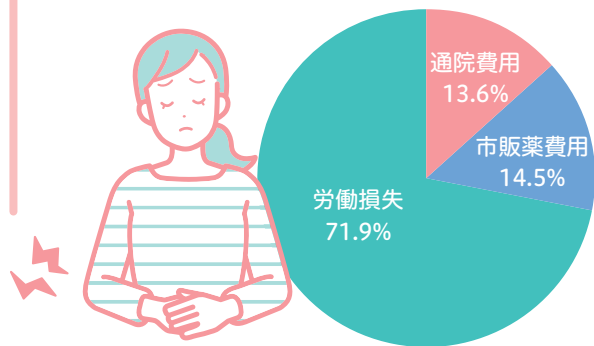
月経痛、PMS、過多月経には、この10～15年で体の負担の少ない様々な薬剤や治療法が広まってきました。辛い月経の症状を頑張って我慢するのではなく、「現在の充実した生活と明るい将来」のために使える医療を上手に利用してほしいと願います。お悩みの方は外来を受診してみてください。



副院長 産婦人科 吉岡 信也(後列・左)

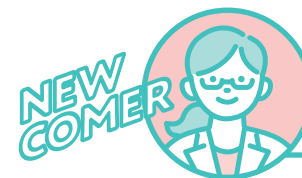
図1

生理に随伴する症状による年間の社会経済的負担は、推計 **6,828億円**
そのうち労働損失は全体の**72%**



(J Med Econ. 2013;16(11):1255-1266)

内訳	通院費用	市販薬費用	労働損失	総計
推計額	930億円	987億円	4,911億円	6,828億円



「乳腺外来」開始のお知らせ

はじめまして。2025年4月より乳腺専門外来を担当致します文亜也子です。

私は兵庫医科大学乳腺・内分泌外科に入局し、乳がん診療における画像診断、手術治療、薬物療法に従事して来ました。現在は乳腺クリニックに勤務しており主に画像診断をメインに診療しております。

週に1回木曜日の午前診のみとなり、健診などの2次精査をメインとする外来を考えておりますが、乳房にまつわる症状や不安などを抱えている患者様がいらっしゃいましたら、お気軽にご紹介頂けましたら幸いです。

まだまだ乳腺専門医が少ない地域ですので、地域の乳腺診療を担えるように出来ることから取り組みたいと考えておりますので、どうぞ宜しくお願いします。



文 亜也子

専門 乳腺

診察日 木曜 午前



マンモグラフィー・3Dトモシンセシス

当院では3D(トモシンセシス)撮影機能を搭載した最新のデジタル式乳房X線撮影装置を導入しております。触診では発見されない小さなしこりや早期がんの組織の変化もとらえることができます。3D画像は1mmごとの薄くスライスされた乳腺の画像を確認することができます。マンモグラフィーの撮影には、女性の放射線科技師が対応させていただきますので、安心してご来院頂ければと思います。診察室についても、女性の方へ配慮させていただきました。新南館の落ち着いた場所で診察を受けることができます。

診察室

